

令和元年度 第12回 環境経営レポート大賞・九州 募集要領

実施目的

特定非営利活動法人九州環境カウンセラー協会は、持続可能な社会の実現に向けて、九州・沖縄ブロックに拠点を持つ事業者を対象に、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の有効性を高め、経営に資することを目的として「環境経営レポート大賞・九州」を開催し、事業者を支援するとともに、選考にあたる審査員の力量向上に努めてきました。

「環境経営レポート大賞・九州」は、応募いただいたエコアクション21認証・登録事業者の環境への取組みによる成果、各社の自主的かつ継続的活動の工夫を、公表された「環境経営レポート」から読み取り、優れたもの、特色あるものを選考し、表彰するものです。

九州・沖縄地域におけるエコアクション21認証・登録制度のより一層の普及拡大、社会的認知度の高まり、さらには温暖化防止対策をはじめとする環境負荷低減や産業資源循環利用の地域連携の充実につながるものと期待して、令和元年度も実施することといたします。

実施に当たっては、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局及びエコアクション21審査員、環境カウンセラーによる強固な連携のもと、公正、公平の姿勢を堅持していきます。

なお、応募の対象は、ガイドラインに基づいて作成された「環境活動（環境経営）レポート」を基本としますが、事業者独自の外部コミュニケーション手段として作成され、公開されている報告書等についても募集いたします。

特に、試行運用期間の「環境活動（環境経営）レポート」の応募を期待いたします。

また、昨年4月より経営と環境の一体化を目指した一般事業者向け改正ガイドラインの運用が始まり、「環境活動（環境経営）レポート」の環境コミュニケーションツールとしての積極的活用を図る中で、「エコアクション21」の環境経営への展開が求められています。

併せて、国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）への取組みが、今後は事業活動へ取り込まれていくことが考えられます。

このような背景の中で運用が始まった改正ガイドラインの求める新たな要求事項への取組みなどをいろいろな角度から評価し、特色のある「環境活動（環境経営）レポート」を表彰対象とさせていただく方針です。

1. 賞の種類

・環境経営レポート大賞・九州

最も環境コミュニケーションツールとして優れており、環境マネジメントシステム（PDCAサイクル）が有効に機能して、経営への貢献が読み取れるもの。

・九州地方環境事務所長特別賞

環境経営レポート大賞・九州と同等もしくは準ずるもので、高く評価すべき取組みを実施していることが読み取れるもの。

・ **九州環境カウンセラー協会特別賞**

環境経営レポート大賞・九州、九州地方環境事務所長特別賞と同等もしくは準ずるもので、高く評価すべき取組みを実施していることが読み取れるもの。

・ **新人賞**

試行運用期間の「環境活動（環境経営）レポート」を対象とし、短い期間の中での取組みを分かり易く、簡潔明瞭に纏められており、これからエコアクション21認証・登録を目指す事業者の参考となるもの。

・ **チャレンジ賞**

新人賞に準ずるものであり、今後のレベルアップが期待できるもの。

・ **奨励賞**

認証登録から3年以下の事業者を対象とし、今後の取組の発展と成果が期待できるもの。

・ **環境パフォーマンス賞**

事業活動の特性を生かした二酸化炭素排出量削減や廃棄物排出量削減、水使用量削減などの取組みを行い、その取組みの根拠や経緯が明確で、適切な評価を行い、且つ顕著な成果を上げているか、または今後の成果に期待できるもの。

・ **SDGs賞**

環境活動とESG投資やSDGsの係わりを具体的に示しており、今後の取組みの発展と成果が期待できるもの。

・ **環境経営賞**

環境活動と事業活動の係わりが明確であり、環境活動への積極的な取組みが、売上高のアップに繋がるなど、事業活動への成果が大いに期待できるもの。

・ **外部コミュニケーション優秀賞**

「環境活動（環境経営）レポート」やそのダイジェスト版、会社案内に盛り込まれた環境活動報告をコミュニケーションツールとして、事業者を取り巻くステークホルダーに対する情報発信が大いに期待できるもの。

・ **選考委員会特別賞**

その他、選考委員会の協議により特別賞を授与することができる。

各賞を受賞された事業者以外に、特色ある取組みを行い、その成果が大きいか、または期待できるもの。

※「環境経営レポート大賞・九州」及び「九州地方環境事務所長特別賞」の受賞歴が、過去2回ある事業者は、各々の賞の受賞対象外とするが、特色ある取組みについては、選考委員会の協議により特別賞を授与することができる。

※各賞は、該当事業者無しの場合もある。

2. 募集対象

- ・エコアクション21の要求事項を満たした「環境活動（環境経営）レポート」で、平成30年7月から令和元年8月までに作成したもので、既に公開[※]しているもの及び、新規に認証・登録審査を受け、九州・沖縄ブロック内地域事務局の判定委員会を通過しているもの。

※公開の方法は、エコアクション21中央事務局ホームページに掲載されていることもしくは地域事務局が受理したものの。

3. 応募資格

九州・沖縄県内の事業者であり、エコアクション21の認証・登録をしていること、または、エコアクション21の認証・登録審査を申込み、地域判定委員会の判定結果で認証・登録を認める判定を受けていること。

4. 応募方法

令和元年度環境経営レポート大賞・九州応募申込書に必要事項を記載し、九州環境カウンセラー協会事務局へ募集期間内に電子メールにて送付すること。

募集案内は、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局ホームページでも公開する。

《提出・問い合わせ先》

特定非営利活動法人 九州環境カウンセラー協会

事務局担当者 山下 ゆかり

〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 31 番 14 号 別棟 2 階

TEL/FAX 096-245-6237

E-メール jimukyoku-yamashita@qeca.org

URL <http://www.qeca.org>

《提出書類》

①申込書

②環境活動（環境経営）レポート[※]

※エコアクション21中央事務局に掲載されている内容に訂正がある場合のみ、PDF形式で事務局に提出すること。エコアクション21中央事務局のホームページで公開されている場合は不要とする。なお、訂正後の「環境活動（環境経営）レポート」は、速やかに

地域事務局に提出し、中央事務局のホームページでの差し替えに努めること。中央事務局のホームページ掲載準備中、もしくは認証・登録申請中（地域事務局判定委員会通過）の「環境活動（環境経営）レポート」は、当該地域事務局が受理したものを九州環境カウンセラー協会の事務局へPDF形式で提出すること。

5. 募集期間

令和元年6月上旬～令和元年8月末日まで

6. 選考方法

- 九州環境カウンセラー協会は、九州・沖縄県内のエコアクション21審査員等の中から必要な人数を選考委員として任命し、環境経営レポート大賞・九州選考委員会を事務局内に設置する。
- 任命に当たっては、できるだけ地域間の隔たりがないように配慮するほか、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局および判定委員に助言を求める。
- 九州環境カウンセラー協会は、選考委員の中から必要な人数を二次選考委員として任命する。
- 九州環境カウンセラー協会は、評価方法を選考委員に通知する。
- 選考委員は、九州環境カウンセラー協会が作成した評価方法に基づいて、第一次選考を実施し、九州環境カウンセラー協会に結果を通知する。
- 二次選考委員は、九州環境カウンセラー協会が開催する二次選考会に出席し、一次選考結果をもとに、各賞の受賞者を協議、決定する。
- 選考委員は、応募された「環境活動（環境経営）レポート」の内、九州環境カウンセラー協会より指名された「環境活動（環境経営）レポート」の良い点、改善が必要な点などを抽出して評価コメントを作成し、九州環境カウンセラー協会に提出する。

7. 選考基準

(1) 基本方針

- 環境省策定の「エコアクション21ガイドライン2009年版」、「エコアクション21ガイドライン2017年版」及び「業種別ガイドライン2009年版」等審査基準に基づく「環境活動（環境経営）レポート」であること。
- 現状を踏まえて、将来（次年度）に向けた取組みが打ち出されており、より高度な取組みへと発展する可能性がみられること。

(2) 個別評価項目

・一次選考

- ①組織、事業概要の記載、認証登録の範囲や拡大審査スケジュールが明確か
- ②環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の整合がはっきり読み取れるか
- ③目標達成に向けた活動、成果や評価結果が明確に記載されているか
- ④環境経営目標や環境経営計画は、具体性がありチャレンジする姿勢が読み取れるか

- ⑤読みやすく、わかりやすく構成されているか（図、表、写真の利用と配置・バランス）
- ⑥環境経営計画に基づく実施結果が、次年度の活動計画に反映されているか
- ⑦全体を通して、PDCAサイクルが回っていることを読み取れるか
- ⑧全体を通して必須9項目の記載がしっかりしているか（事業規模に見合っているか）
- ⑨代表者の指示が明確で、今後の活動の広がりや成果に大きな期待が持てるか
- ⑩注力するテーマが明確で、具体性があり、他の模範となる内容があるか

新人賞の選考に際しては、特に⑦、⑧を重視する。

一次選考の各評価項目の評価で、計50点満点とする。平均点以上をもって二次評価対象とする。

・二次選考

一次評価の総合点が平均点以上の「環境活動（環境経営）レポート」を対象とし、全体的に優れたもの、取組内容に特色が見られるものを選別する。

- ①課題とチャンスを反映した本業に即した環境経営方針、環境経営目標となっているか
- ②社員の顔が見え、意欲が伺える全員参加による取り組みとなっているか
- ③読みやすく、分かりやすく構成されており、ストリート性のあるレポート内容となっているか
- ④二酸化炭素削減のための活動が充実し、成果が上がっているか
- ⑤廃棄物削減、リサイクル向上に向けた活動が充実し、成果が上がっているか
- ⑥水使用量削減や雨水利用などの活動が充実し、成果が上がっているか
- ⑦環境への取組みをSDGs等の先進的な取組みと関連付けており、その内容を分かり易く記載しているか
- ⑧企業価値の向上や社員のモチベーションを高める取組みを行っており、企業のPR、売上高のUPなどにも繋がる経営ツールとして活用できる内容となっているか。また、期待できるか
- ⑨想定される読者や具体的な利害関係者をイメージして作成されており、環境コミュニケーションへの意欲が読み取れるか
- ⑩地域社会への環境貢献活動に積極姿勢が見られ、連携した成果が期待できるか

(3) 評価の前提条件

- ①環境関連法規等の違反がないこと。または違反が発覚したあと、事実経緯と改善経過を記載していること。
- ②外部からの苦情に適切に対応していること。
- ③「エコアクション21ガイドライン2009年版」、「エコアクション21ガイドライン2017年版」の「環境活動（環境経営）レポート」に関する要求事項を満たしていること。

8. 結果発表

令和元年11月中旬(予定)に、九州環境カウンセラー協会ホームページ及び九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局ホームページで公開するとともに、応募された事業者には別途連絡する。

9. 表彰式

令和元年11月27日(水)に福岡市内にて表彰式を開催する。

表彰式は、九州・沖縄県内のエコアクション21地域事務局と連携し、エコアクション21認証・登録事業者又は参加を希望される事業者の研修も兼ねて開催する。